

## 「国際生物多様性の日シンポジウム」レポート

### 環境省主催「つなげよう、支えよう森里川海」 シンポジウムに弊社社長・粟井英朗が登壇

2015年5月30日、国連大学ウ・タント国際会議場にて開催された「つなげよう、支えよう森里川海」シンポジウム(主催:環境省、国連大学サステイナビリティ高等研究所、地球環境パートナーシッププラザ(GEOC))に、弊社社長である粟井英朗が登壇しました。



本シンポジウムは環境省が推進するプロジェクトのプログラムのひとつで、「持続可能な開発のための生物多様性」をテーマに、森里川海の恵みを引き出すためにどのような仕組みが必要か、専門家による基調講演や取組事例の紹介、またパネルディスカッションが行われました。

粟井は地域事例の発表者として招聘され、「環境保全と事業性の両立」をテーマに約10分間、自らが実践してきたことや、事業のビジョンを発表しました。

粟井は富士山の恵みをクリーンに活用し、『富士山環境圏』と名付けた上流域から下流域までが漏れなく共存繁栄していくというビジネスモデルを掲げ、啓発活動や森林保護活動、寄付活動を通じながら、地域の理解を求めていったこれまでの活動を紹介しました。さらに自身の住民票や自宅も富士吉田市に移動し、地域貢献に対する熱意を示すとともに、企業としても生産拠点のみならず、本社機能も移転を図り、地域における雇用創出に貢献していることを説明しました。

また子会社として設立した二社も地元製品の拡販に注力していますが、これらの取り組みが評価され、今では地元有数の優良企業として認識されると同時に、弊社の水事業が富士吉田市の産業全体を牽引する存在になるべく活動しています。

**<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>**

富士山の銘水 広報事務局 担当：佐藤、小泉

TEL : 03-6427-1827

FAX : 03-6701-7543

E-Mail: info@kartz.co.jp

さらに将来的なビジョンとして、『富士山環境圏』においてエネルギー自給率100%を実現し、環境と経済の循環モデルを下流域に広げていくというビジョンを発表。最終的には上場を果たし、経済的な地域貢献を強化すると同時に、このビジネスモデルの利点を日本中に発信していく決意を述べました。



弊社はこれからも「環境保全と事業性の両立」をテーマに地域にしっかり根付いた事業展開を通して貢献できるよう取り組んでまいります。

## 開催概要

- 名称: 「つなげよう、支えよう森里川海」公開シンポジウム
- 主催: 環境省、国連大学サステナビリティ高等研究所、地球環境パートナーシッププラザ
- 日時: 2015年5月30日(土) 13:30～16:30
- 会場: 国連大学 ウ・タント国際会議場(東京都渋谷区神宮前5-53-70)
- 内容:
  - ・開会／主催者挨拶
  - ・基調講演「環境・生命文明社会の創造～自然と共に生きる～」  
武内 和彦(国連大学 上級副学長／東京大学サステナビリティ学連携研究機構長・教授)
  - ・つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト中間とりまとめ(案)の御紹介  
涌井 史郎(東京都市大学 教授／UNDB-J 委員長代理)
  - ・地域の取組事例の紹介
    - ①吉澤 保幸(一般社団法人 場所文化フォーラム 名誉理事)
    - ②栗井 英朗(富士山の銘水株式会社 代表取締役社長)
    - ③遠藤寛子(横浜市 環境創造局 政策課 環境プロモーション担当課長)

**<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>**

富士山の銘水 広報事務局 担当: 佐藤、小泉

TEL: 03-6427-1827

FAX: 03-6701-7543

E-Mail: info@kartz.co.jp

# News Letter

富士山の銘水 広報事務局

TEL: 03-6427-1827



水と人と自然をつなぐ

富士山の銘水株式会社

## ・パネルディスカッション

テーマ「森里川海を豊かに保ち、恵みを引き出す社会への変革～日本人の自然観を取り戻す～」

高木 美保(タレント・芸農人)

中村 文明(多摩川源流研究所 所長)

井上 恭介(NHK報道局 チーフ・プロデューサー、「里山資本主義」著者)

八幡 暁(海洋冒険家・NPO法人 海遍路 副理事長)

中井 徳太郎(環境省大臣官房審議官)

## 会社概要

- 会社名：富士山の銘水株式会社 <<http://fuji-meisui.co.jp/>>
- 代表者：代表取締役社長 栗井英朗
- 所在地：山梨県富士吉田市上吉田4961番地1(本店・工場)  
東京都中央区銀座1丁目16番1号(東京本社)
- 主な事業内容：ミネラル水の製造・販売及び輸出入  
に附帯又は関連する一切の業務



富士山の銘水では、富士山の標高1,000m地点の地下273mから採水したナチュラルミネラルウォーターを使用しています。

徹底した衛生管理と、その品質の高さから食品安全マネジメントシステムの国際規格であるFSSC22000の認証を取得。本認証の取得は、日本国内のウォーターサーバー専門メーカーとしては業界初となります。

美容と健康に良いとされる富士山のバナジウムを豊富に含んだ天然水は、発がん性物質の生成につながる恐れがある硝酸・亜硝酸窒素の濃度が極めて少ない非常に良い水質で、安全性と美味しさを両立しています。また、女性でも簡単に交換が行える軽量7.2ℓパックを開発しました。

### <本件に関する報道関係者からのお問合せ先>

富士山の銘水 広報事務局 担当：佐藤、小泉

TEL：03-6427-1827

FAX：03-6701-7543

E-Mail: [info@kartz.co.jp](mailto:info@kartz.co.jp)